



・発行者・
京都障害者
スポーツ
振興会

マレーシアでシンクロ！卓球バレー！

森田 美千代

昨年夏、約3週間障害者スポーツ・シンクロの指導にマレーシアへ行ってきました。

5年前、マレーシアに派遣される青年海外協力隊員から「障害者スポーツについて知りたい」と振興会に相談があり、障害者スポーツ指導員養成講座を受講し、シンクロやつどいの体験ボランティアをしてもらいました。

それをきっかけに、1回目（09年）は、身体障害の方の水泳・シンクロを知ってもらおう！と、経験してもらおう！と、車いすのシンクロスイマー1名と振興会シンクロ専門部・研修部のメンバーで、マレーシア（アロースター市）へ2日間行ききました。支援学級の子ども達と先生にシンクロを見てもらうと同時に一緒に曲に合わせてシン

クロをしました。

マレーシアは常夏の国ですが、学校で水泳を学ぶという習慣はないとのこと。学校では水泳の授業はないそうです。地域には、誰でも使える公営のプールはありますがほとんどどの学校にプールはありません。マレーシアの皆さんは、身近な川や海・プールで遊ぶという感覚が多いようです。（私達の訪問した地域では）その後10年11年夏には、日本障害者シンクロ協会のメンバーと共にアロースターへ行き、一緒にシンクロをするという取り組みを続けました。昨年は、ジョホール州に3週間行きました。ジョホールバル市の教育委員会の方々の要請もあり、シンクロだけでなく他のスポーツの取り組みもしました。せっかくの機会

すので「卓球バレーを！」と思いだ道具一式をもつて行き体験してもらいました。大好評でした。他に風船バレーやフライングデイスクも体験してもらいました。支援学級の子ども達や先生にとつて初めて見るスポーツで大いに盛り上がりました。

卓球バレーのように（風船バレーも同じですが）チーム対チームで一つのピン球をパスしあい得点に結び付け勝敗を決める。人との関係や物との関係を結ぶことの苦手な子どもたちが、一つの卓球台にまとまり目を輝かせてピン球の行方を追うスポーツ、ピン球が台から出てしまつたら勝つ方と負ける方ができるという簡単な簡単なルールを知ると同時にゲームを楽しみながら身体活動するということも体験しました。先生方にとつても初めての経験で今後取り入れていきたいと話してくださいました。

シンクロは、京都コスモスのメンバー2名（保護者も）と共に行きソコの演技を披露し、先生や子ども達と一緒にシンクロ演技を作り泳ぎました。マレーシアは、イスラム教の方が多い女性。髪は髪の毛や肌を見

せない水着を着用（日本で言う着衣泳の状態）する中で、水中での動きは抵抗が多く動きにくそうです。それが当たり前の生活習慣です。私達から見れば「それは服？水着？着替えたの？」という状態です。学校で水泳を学習すること、先生の中にも初めてプールに入るといふ方もおられました。そんな中で、音楽に合わせてプールの中を歩いたり浮いたり泳いだり回ったり、子ども達より先生の方がこわごわという場面も見られました。水と音楽は万国共通！どこへ行っても楽しむことができました。「ミツキーマウスマーチ」の音楽に合わせて練習していくと1時間後には、立派な演技の出来上がり！先生と子どもチームで発表会をし、楽しい身体活動・水中運動の体験をしてもらうことができました。

ジョホール州は、大都会でビルと高速道路いっぱい！京都の町中より高いビルや車がいっぱい！スーパ

裏面へ続く

行事予定	3月	10(日)	乙訓障害者スポーツのつどい	大山崎町体育館	2013年 6月 つどい リニューアル オープン
		12(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	
		17(日)	250回障害者水泳のつどい	伏見港公園プール	
		24(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
	4月	9(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	
		13(土)	振興会スタッフ全体会	京都市障害者スポーツセンター	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ				TEL/FAX075-712-7010	
http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2013年2月17日に一部更新)					

